

いま全力で夢に向かって

MEDIA

自信がなければ自身も輝かない。
日本テレビ「サンデー」出演中 辰島優さん 金田由希



Yu Tatsushima

テ レビ番組の野球コーナーを巨人Oの元木大介さんと担当している辰島優さん。3月頃からリポーターに挑戦し、多忙な毎日を送っています。中学時代から歌手を目指していた辰島さんは、高2の夏に受けたプロダクションのオーディションに合格し、卒業後すぐに上京。ライブハウスでの活動をはじめ、20歳過ぎてから舞台にも挑戦して、現在4本目となる舞台練習に励んでいます。

「上京してしばらくはバイトを3つ掛け持ちしたりして、生活するだけで精いっぱいでした。華やかそうに見えるけど過酷な世界なんだと身にしみて感じました」と

いまだに、福智の子どもたちには、今を一生懸命生きてほしい。それが何よりの勉強だし、後の人生で必ず生きてくると思います。金田の祭りの活気、上金田のあぜ道の景色が大好きだという辰島優さん。愛する故郷の風景のように、夢へと続く大きな一本道を歩み続けています。



【たつしま・ゆう】現在、タレント、シンガーソングライター、舞台女優として幅広く活躍中。22歳、福智町金田出身。

壁の向こうに

ひました。福智の子どもたちには、今を一生懸命生きてほしい。それが何よりの勉強だし、後の人生で必ず生きてくると思います。金田の祭りの活気、上金田のあぜ道の景色が大好きだという辰島優さん。愛する故郷の風景のように、夢へと続く大きな一本道を歩み続けています。

MUSIC

メジャーデビューをめざして。
作品がCDに初収録された 太田美佐喜さん 上野



Misaki Ota



【おおた・みさき】歌手としてメジャーデビューを目指す22歳、福智町上野在住。

個性生かして

北 九州市で開催された「第3回キタキューミュージックオーディション」で、約130組の中から審査を勝ち抜いた太田美佐喜さん(上野)の曲「風のコトノハ」がCDに収録され、7月に発売されました。「失恋してもまた新たな出会いがある。前向きにがんばろう」という意味を込めて作詞作曲した太田さん。以前は人と比べて落ち込むことが多かったが、次第に結果に自信が持てるようになり「自分らしく個性を大事にしよう」と気持ちを切り替えたそうです。今通っている音楽教室「DMS」(田川市)

の先輩である「元中ノ森バンドのAYAKOさんのように、メジャーデビューしたい」と、週5日の練習を重ねています。最近、夢に向かって「という内容の作詞が多い」と太田さん。自分を表すように気持ちをのせ、切々と歌い上げています。

BASKETBALL

挑戦する姿勢、プレーで伝えたい。
プロバスケットプレーヤー 石谷聡さん 伊方出身



Satoshi Ishitani

バ スケットボール選手になるべくして生まれてきたような選手」と山本華世代表は評価します。福智町出身の石谷聡選手、この春プロ選手としてライジング福岡のメンバーに選ばれました。父は指導者、2人の姉は国体選手というバスケット家族の中で育った石谷選手は、小中高のコートでエースプレーヤーとして駆け回ります。進学した福岡大学でも「将来学生界を代表する選手になる」と周囲の期待を集めました。そんな中、1年目、2年目と大ケガに見舞われます。右足に続き左足の靭帯も切断。「もう、このまま2重でいい」という投げやりな気持ちになった当時を、石谷選手は振り返りました。

「1軍では一生懸命に必死にやっても1軍にあげられない選手がたかさんいました。自分は頑張っても甘えてる。情けない自分に気がきました。」

その姿勢を自分のプレーで伝えられたらうれしいですね。バスケットの楽しさや面白さをもっともって伝えたい。

信条は「常に挑戦」。一日も早くコートで故郷の声援が受けられるように、大好きなバスケットに打ち込める日々々に感謝しながら、プレーと精神を磨き続けています。



【いしさに・さとし】ライジング福岡に所属、背番号24、ポジションはガード。177cm、23歳、福智町伊方出身。

逆境を越えて

谷選手は振り返りました。「1軍では一生懸命に必死にやっても1軍にあげられない選手がたかさんいました。自分は頑張っても甘えてる。情けない自分に気がきました。」

BASEBALL

いつでも次の目標に向かって。
全国ベストナインに選ばれた 山崎美空さん 赤池出身



Miku Yamasaki

小 3のころ、弟のプレー姿に感動し、市小ガッツで野球を始めた山崎美空さんは、強肩とバントが武器の外野手として赤池中野球部でも活躍。中学最後の打席で放ったセンター前ヒットの感触が忘れられず、鹿児島県の神村学園に進学して野球を続けました。「ソフトボールと迷ったあけく、やろうと決めた野球。昨年は足が震えたけど、今年は球がよく見え、また」という高校最後の大会となった第12回全国高等学校女子硬式野球選手権大会、山崎さんは大会打率2位となる4割2歩9厘をたたきだし、自慢の強肩で3つのライトゴロを決めるという大活躍。見事、全国ベストナインに選ばれました。卒業後は野球に区切りをつけて歌手を目指すという山崎さん。「野球で培ったガッツを生かして夢をつかみたい」と次の目標に向かって目を輝かせています。

未来へシフト

【やまさき・みく】全国高校女子野球大会でベストナイン。18歳、福智町赤池出身。



【やまさき・みく】全国高校女子野球大会でベストナイン。18歳、福智町赤池出身。

Special Interview

タレント 山本華世さん

今年の成人式で福智町の若者にエールを送った山本華世さんから、まちの子どもたちへメッセージをいただきました。

勝 負に勝つ、競争に勝つ、評価を得る…。どんなことでも、うまくいくことに越したことはありません。だけど、もっと大切なことは結果までの過程。一生懸命チャレンジすることじゃないかと思います。みんなは何か、悔し涙を流すくらいに打ち込んだことってありますか。そんな経験が社会に出て必ず役に立つんです。スポーツに限らず、とことん頑張ってみて! 本当の悔いが残らないように。



Kayo Yamamoto

悔し涙を流せるくらい打ち込めるものを

【やまもと・かよ】テレビキャスター、ライジング福岡代表。旧方城町では例年成人式で講演。今年の福智町成人式でも新成人にエールを送った。